

## A 7 海域（有明海湾口部）の問題点と原因・要因の整理

## 【有用二枚貝の減少】

## 1 アサリ

## 現状と問題点の特定

アサリは A 7 海域（長崎県島原半島沿岸）で 1985 年に 263 t の漁獲を記録したが、1988 年以降は 80 t 以下で推移した。2009 年に 166 t、2010 年に 156 t を記録したものの、その後再び減少し、2013 年は 9 t となっている。

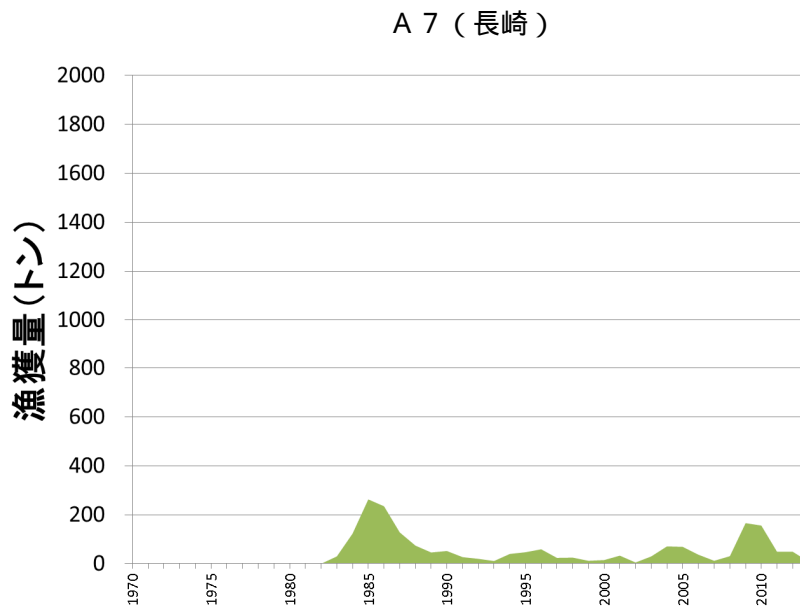


図 1 A 7 海域のアサリ漁獲量の推移

（整理農林水産統計より環境省が整理・作図した。）

## 要因の考察

本海域は岩礁性の海岸線が多いため、アサリの生息に適した砂質干潟の面積が小さい。このため漁獲量が少なく、アサリが生息する干潟の環境調査や資源調査もほとんど実施されていないため、資源変動要因については考察できない。